

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズボンド笠松				公表日	令和8年2月12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	2	・安全面に配慮し、運動スペースや作業スペースなど活動内容ごとに空間を区切ることで、子どもが安心して遊びや活動を楽しめる環境づくりを行っている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1	・状況に応じて配置している ・その日の子どもの人数に応じて職員配置がされています	・できるだけ職員配置に余裕を持たせ、子どもの急な不安定な状態や突発的な事態にも対応できるようにする	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	・子どもたちにとって分かりやすい環境づくりを心がけており、分かりにくい場所については視覚的な掲示を用いて伝えている。また、ホワイトボードを活用して活動内容や約束事を共有するとともに、段差が少なく安全に配慮された構造となっている	・概ね構造化された環境は整っているが、児童の特性や利用状況に応じた視覚的配慮や動線の工夫について、今後も継続的な見直しが必要である	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1	・日々の清掃に加え、月1回の大掃除や安全点検を行い、消耗品についても定期的に確認し交換するなど、清潔で安全な環境づくりに努めている	・布製品について、月1回の洗濯と日々のアルコール消毒の方法が適切かどうか、今後も衛生管理の観点から見直しを行う必要がある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	・児童の状態に応じて個別の部屋を活用し、気持ちを落ち着けたり休息や学習に集中できる環境づくりを行っている	・個別スペースは確保されているが、利用状況により十分に活用できない場合もあるため、運用方法や環境面について継続的な見直しが必要である	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	・半年に1回、児童一人ひとりの評価を行い、新たな支援計画を作成している。作成した支援計画は職員間で共有し、ファイルでいつでも確認できる体制を整えている	・PDCAサイクルは実施しているが、職員全体での参画をさらに促すため、意見交換の機会や共有方法について継続的な見直しが必要である	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・職員間で定期的に話し合いを行い、出された意見を業務改善につなげている。また、イベント実施後にはアンケートを行い、得られた意見や改善点を次回の企画や運営に反映している	・保護者の意向把握は行っているが、意見をより効果的に業務改善へ反映させるため、集計方法や共有・活用の仕組みについて継続的な見直しが必要である	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・職員間で定期的に話し合いや情報共有の機会を設け、子どもの不安や支援上の課題について協力して対応している	・職員の意見を把握する機会はあるが、意見の集約や業務改善への反映について、より効果的な運用方法を検討していく必要がある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1	・外部および職員からの評価を確認し、内容を共有しながら継続的な改善に取り組んでいる	・外部評価は行っているが、評価結果をより効果的に業務改善へ反映させるため、活用方法や共有体制について継続的な見直しが必要である	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	・子どもの長期休みを除き、月1回以上の研修が定期的実施されており、パート職員も議事録を通じて内容を共有し、支援に活かしている	・研修後に振り返りや共有の時間を設け、学びを実践につなげる仕組みを強化する	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	・HPやパンフレットに記載されている	・実際の支援内容とプログラムの記載内容にズレがないかを確認する仕組みを整える	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	・子どもの興味やブーム等も参考にしながら支援の目標を選び計画書を作成しています ・職員間で状況に応じア相談、作成している	・計画作成後も定期的に見直し、状況変化に応じて更新する	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	1	・複数人で子どもの支援に関しては共通理解をしている	・パート職員のため、子どもの支援に関わる特別な配慮は共通理解をできるようにしてほしい	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	・朝礼や職員会を活用して、情報を共有して計画に沿った支援を行っています ・変更の都度、情報共有している	・支援記録と計画内容を照らし合わせ、実践状況を振り返る	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	・共通のものを利用して、日々の行動を全員で把握できるようにしている ・子どものニーズや課題に応じて適応行動の状況を図るためにアセスメントツールを使用している	・日々の行動観察の記録方法を統一し、客観性を高める	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	・モニタリングを行い、ご家庭の様子やご要望、本人の気持ちを共有したうえで、支援内容について検討し、支援計画を作成します ・孤独にならないようしている	・こどもの発達段階や生活環境に応じて、項目設定を柔軟に見直す	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	・自発管と共に立案している。見直しも行いプログラムを作成している ・活動が計画されたら立案を詳しく職員に知られている	・定期的にチームミーティングを設け、意見交換の時間を確保する	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・月ごとの行事や季節に合わせた活動を行っている ・体を動かす日、制作の日など、曜日で活動が重ならないようにしている ・全職員で検討しています	・定期的に活動内容を見直し、新しいプログラムを取り入れる	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	・発達に合わせて、活動を行うようにしている ・児発、放デイな活動内容をわけるなどして計画もやっている	・職員間で情報共有を行い、支援方法の統一を図る
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	・朝礼や連絡ノートを活用して、子どもの情報を共有します ・朝礼にて、連絡共有の場も作っている ・一日の流れや利用児童への対応についても共有している	・打合せの実施内容や確認項目を定量化し、抜け漏れを防ぐ
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	・毎日会議を行い、日々の様子や対応について共有している ・朝礼にて、連絡共有の場も作っている ・正社員等関係なく気になった点を共有する場がありとても勉強になる	・個人の感想に偏らず、支援計画との整合性を確認する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	・毎日、職員で子どもの様子を交流してから個人記録の記入をします ・帰りの送迎後、情報共有し、改善への取り組みをしている	・記録様式や記載基準を統一し、記録の質を均一化する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	・半年に一回モニタリングを行い、計画の見直しをしている	・見直し内容を職員間で共有し、支援に確実に反映させる
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	12	0	・自立支援と日常生活ができるように多様な遊びや体験活動を通して支援を行います ・日々の真加出取り組めるよう計画し、支援を行っている	・「4つの基本活動」を職員全体で再確認し、理解を統一する
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	・子どもが自分で決めて切り替えることができるような声掛けを行っている ・年齢や発達に合わせた活動を用意している ・子どもがやりたいあそびができる選択しがたくさん用意されている ・日常的遊び子どもの決断にまかせ安全と意見を尊重し失敗も学びのきかいとしてサポートをしている	・こどもの選択を尊重し、結果を振り返る機会を設ける
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	・支援員と担当者は相談しやすい関係で会議が行われています ・相談事業所などの担当には自発音、場合に応じてよく知る者が対応している	・日頃からこどもの支援状況を把握している職員が参加できる体制を整える
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	・契約時にかかりつけ医師や状況を確認している	・機会は少ない ・学校行事を見に行くなどして関わっている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	・年間計画・行事予定表、通信等を共有し、情報確認します	・学校との連絡窓口や連絡方法を明確にする
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	0	・管理者が主に情報共有している	・立ち合ったことはないが行っていると聞いている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	6	・相談は可能です	・今は支援が必要な子がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	0	・支援センターの方が来所されて子どもの様子をこまめに見られたりして、教室では得られない話を共有し合うようにしている ・研修を受ける機会がある	・研修内容を職員間で共有し、現場に活かす仕組みを整える
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	6	・お出かけ先にて交流することがある ・トランポリン活動などで他教室との合同利用によって交流を楽しむ子どもの姿がある	・放課後児童クラブや児童館に参加することができるように相談します ・平日は時間的に余裕がなく、教室だけの活動になることが多い
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	4	・参加できる担当者を定めている	・得られた情報や知見を職員間で共有する
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・送迎の際、直接保護者と話をしている ・連絡帳を活用し、日頃の子どもの状況を共有します	・伝える内容や記録方法を統一し、分かりやすく整理する
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	・家族支援として話し合いの場を作っている	・家族のニーズに応じた支援プログラム内容を検討する	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	・モニタリングを活用し、利用者と話をします ・契約時にしるいを用いて説明している	・説明後に理解状況を確認し、必要に応じて再説明を行う
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	・保護者や子どもの意向をしっかりと確認している	・こどもの理解度に応じた説明方法を工夫する
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	・モニタリングで、支援計画を説明します ・契約前に確認している	・保護者が質問や意見を伝えやすい時間を確保する
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	・LINEや電話等も活用し、すぐに対応できるようにしている	・必要に応じて専門機関と連携し、適切な助言を行う

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	1	・親子参観日を設けている。少しでも保護者同士で関わられるような時間を作っている。 ・年に1回以上、親子参観があり、兄弟も参加できます	・保護者会や交流会の開催頻度や内容を見直す
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	・苦情等はないが、過去にあったことは同じことが起きないようにしている。また、教室外の様子についても保護者から直接話を聞くようにしている	・迅速に対応できるよう職員間で役割分担を明確にする
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	・毎日の活動をSNSを活用して、教室の様子がわかるようにしています ・連絡帳にも子どもの様子がわかる写真を貼ることも	・活動予定表については発行日は決まっているため、早く知りたい保護者の方に対して対応できないことがある
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	・規則を守り厳守している ・鍵付きの書庫に保管し、十分留意している	・定期的に研修を行い、意識と知識の向上を図る
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	・個人情報を厳守します	・理解度を確認しながら丁寧に対応する
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	8		・機会がない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	・マニュアルを作って職員が誰でも対応できるように訓練を実施します ・研修にて、職員間での動きなどを共有している	・各種マニュアルの内容を定期的に見直し、最新の状況に更新する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	・月ごとに何かしらの訓練やビデオを見て備えている ・玄関に避難所を掲識している	・BCPの内容を定期的に見直し、実情に即したものに更新する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	・子どもの情報を共有します ・保護者に同意書類を用意しています ・契約時、モニタリングなどの際に確認している	・職員全員が必要な情報を把握できるよう共有方法を統一する
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	・食物アレルギー児に対してはしっかり対応している	・医師の指示書の内容を定期的を確認・更新する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	・月1回安全点検を行います ・支援中に安全問題を見つけたらすぐ共有して対応します	・安全計画の内容を定期的に見直し、現場に即したものに更新する
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	・家族の方にもしっかりと連携を行い、安全面に配慮して周知している	・定期的に周知の機会を設け、理解状況を確認する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	1	・その都度、共有し対策について考えている ・ヒヤリハットを共有します ・職員会にて再発防止対策を話し合います	・児発と放デイと一緒に活動をする際に多く感じられます ・教室外のヒヤリハットの箇所を把握しておくとうい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	・会社の研修により、対応している	・具体的な事例を用いて理解を深める機会を設ける
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	・説明書と同意書を用意して共有します	・身体拘束に関する判断基準や手順を明文化し、組織全体で共有する	